



よこはま プロバス通信

No.10 2013年6月発行

http://yokohama1probus.web.fc2.com/TR3.html
ユーチューブチャンネル probusyokohama

情報委員会・編集委員

情報委員会所在地：横浜市中区港町3-13番地 弁慶内 電話：045-651-3643

新会長抱 “改革なくしては生き残れない”

会長 青木 伊平

創立10周年を迎える頃から、高齢化による例会等への出席が不可能になったなどの理由で退会が相次ぎ会員が激減、25名を割る事態になりました。「横濱プロバスは、これでいいのか!」と大変な危機感を抱いたことを今でも鮮明に覚えております。

その時の改革の一つは当時、「年会費3万円を半額にしよう」ということでした。当時、会長だった加藤武氏等の英断で年会費を1万2千円に改訂。4年が経過、会員も40名に近づく事が出来ました。会員の皆様のご協力により改革を断行したから現在の輝かしい倶楽部になったと確信しています。

昨年11月開催された第5回全日本プロバス協議会総会でわが倶



楽部が指名され、加藤武氏が全日本プロバス協議会会長に就任。これまで関西が中心であったものが初めて関東に舞台を移しての運営となりました。私は初めてこの全日本プロバス協議会総会に参加。また第2回関東中央地区交流会、神奈川県プロバス連絡協議会第7回親睦交流会、関東ブロック会長・幹事会に出席し、いろいろ勉強させて頂きました。

そこで感じたことは
“改革なくしては
生き残れない”

ということです。横濱プロバス倶楽部も現状に安住するのではなく、「新たな改革のスタート

① “楽しくなければプロバスではない” をモットーに楽しいクラブ造りを目指して頑張りたい
② 先輩の方にアドバイザーとしてご活躍頂きましたが高齢化に伴うご負担を解消するためアドバイザー制を廃止。(規約にはない臨時の制度) アドバイザーの皆様には先輩としてご指導と建設的なご意見を頂戴し、今後の会の繁栄の糧として参りたいと存じます。

台に立ったんだ」と私は気を引き締めております。

横浜は400万の大都市です。世界一の美しい港を抱えた都市であり、わが倶楽部はそのど真ん中、中区港町に活動拠点を置く倶楽部でもあります。

日本のヨコハマではなく、世界のヨコハマを目指し、「横濱プロバスここにあり」という心意気で取り組んでいく決意であります。

例會、他クラブとの交流をまとめるのが幹事の主な役目という松下前幹事の教えを踏襲し、青木会長の下で、チームワークを図り、会員間のコミュニケーションを第一に、“楽しい横濱プロバス倶楽部”を築いていきたいと思ひます。



幹事

関口

尚親

昨年度は会員数も伸び親睦会も増えるべく伸び伸びとした横濱プロバス倶楽部でした。これも前役員及び会員皆様の努力の賜物と思ひます。「理事会、

加して頂けるか? 「楽しく、気楽に、参加しよう」をモットーに、皆様と一緒に頑張っていきたいと思ひます。



例会委員長

東野

操

今年度例会委員長をお引受けして例会をいかに楽しく出来るかと考えてみました。定例会、移動例会、他クラブとの交流会、各行事にいかに大勢の皆様に参加して頂くか? 「楽しく、気楽に、参加しよう」を



会員委員長

保谷

英雄

力して参りたいと思ひます。会員一人ひとりが「毎月の例会に出席してよかった。万障繰り合わせて次回もまた出席したい」と思う、楽しく有意義な会運営を会長、幹事、各委員長と共に努



情報委員長

須藤

照夫

日頃ボーイスカウト活動の中で子供たちが「やったこと無いからできない」といいます。「経験が無いからと、やらなければいつまでも知ることができない」と促し新しいことに挑戦させています。この言葉を自分に置き換えてお引き受けしました。多くの情報を共有することはコミュニケーションを良くし楽しくするものと思ひます。ご協力をよろしくお願い致します。

<会長職の1年を振り返って>

大久保 武

この一年間を振り返ってみて皆様に満足のゆくの運営が出来るのかと試行錯誤しながらの毎月の例会等の開催でしたが会員皆様のご協力 私を支えてくださった役員の皆様ののおかげで無事大役を務めることができ充実した時間を過ごすことができました。誠に有り難うございました。

倶楽部の3つの柱である、例会委員会、会員委員会、情報委員会を充実することに努めてまいりました。

例会委員会については例会、移動例会、クリスマス例会、新春賀詞交換例会等の内容について色々工夫してまいりました。満足していただけたのではないかと思います。



足いたしました。

情報委員会については「よこはまプロバス通信」の定期刊行、ホームページによる情報提供、新たにユーチューブの開設がなされました。

2014年秋には全日本プロバス協議会総会が開催されます。会長の出身母体として精一杯の支援が必要です。立場を変えて倶楽部のため引き続き尽力してまいります。

会員委員会については会員相互の親睦を図るコミュニケーションの場である「にこにこサロン」「ゴルフ同好会」「旅行同好会」の開催が定着しました。12月には「カラオケ同好会」が発

<例会報告>

2月例会 (第136回, 32名)

平成25年2月8日(金) 14時から、進交会館にて2月例会が開催されました。

冒頭大久保会長から、当日のゲスト、山手RC山崎会長の紹介がありました。また、森山常任理事から、特別ゲストの多摩PCの滝川益男氏、鈴木征四郎氏(中国・南京から帰国中で森山さんの友人)の紹介がありました。

恒例の誕生日お祝い品が原田会員委員長から、西山節雄、中村芳之両会員に贈られました。

次に、各委員会報告・理事会報告・同好会活動報告並びに会計報告がありました。なお、加藤武常務理事から、カラオケ同好会は、にこにこサロンと開催日の日程調整をするよう要望がありました。

2月の会員放談は、岡部正久氏による「当世マンション事情」で、大変身近な話題であり、質問対応に時間が無くなるほどでした(4P参照)。

その後、山手RC山崎会長から、3.11大震災・原発事故の際、別荘のある福島支援に駆けつけ、大変苦労された話を伺い、また、南京の大学で、10年に亘り日本文化の教鞭に尽力されている鈴木征四郎さんからは「中国との友好増進は、一人でも多くの日本ファン・日本文化理解者の中国人を増やすことから始まる」とのお話を伺いました。

恒例の月の歌「早春賦」を斉唱し、青木副会長から、閉会の辞の中で、度重なる手術から復帰できた元気の基はプロバスだとの感謝の言葉を頂きました。

3月例会 (第137回、26名)

平成25年3月8日(金) 12時から、相生本店にて3月例会が開催されました。

冒頭の会長挨拶で、当日のゲスト、横浜山手RCの大場英雄前会長の紹介がありました。

3月は誕生月の会員がいないため、早速会務報告に入り、各委員会報告、理事会報告、同好会報告が各担当会員からありました。

事務局からの会計報告等の後、大久保会長から、2月20日開催の全日本PC協議会第2回関東中央地区交流会参加報告がありました。来年、平成26年11月に当横浜で開催予定の、第6回全日本PC協議会総会に向けて、関東地区が中心になって準備を進めることになったとのことです。

3月の会員放談は、加藤豊会員による「人生を楽しむ」で、仕事もボランティアも波瀾万丈の半生を大いに楽しんできたお話を頂きました(別掲予定)。

その後、懇談の時間を活用し、A、B、Cのグループに分かれて、メンバーの確認・役割分担の話し合いを行いました。次年度の具体的な分担は、次回以降引き続き協議します。

最後に月の歌「花」を斉唱し青木副会長の「ストレスこそ万病の元、プロバスで楽しく交流し元気に長生きしましょう」との閉会の辞でお開きとなりました。なお、今月も例会後「カラオケ同好会」が開催されました(10名参加)。

4月移動例会(思い出に残る第138回例会、21名)

4月11日(木)より12日(金)にかけて、常春の地、伊豆屈指の景勝地「熱海」錦ヶ浦の最高リゾート「ホテルニューアカオ」にて、盛大に開催されました。

全日本プロバスクラブの会長並びに幹事長という大役が当倶楽部より選任された記念すべき一泊親睦旅行でありました。

例会終了後、懇親会が開催され海の幸を堪能。歌や踊りを満喫し、深夜まで、会の主旨でもある相互の親睦交流等を十分に楽しみ、誠に意義深い一日でした。松下幹事、担当理事の方々のご協力、ご指導に心より感謝致します。今後とも、より一層楽しい移動例会を企画し、継続していただきますように願っております。(本橋例会委員長談)



5月例会

(139回、30名)

平成25年5月10日(金)12時から、相生本店にて、5月例会が開催されました。

大久保会長の挨拶の後、5月誕生月の、加藤武、平野正弘、岩田慎一各会員に対して、原田会員

委員長からお祝い品が贈呈されました。

会務報告として、各委員会報告の後、理事会協議事項の報告があり、次期役員候補者の確認はじめ、6月総会に関する報告がありました。

次に同好会報告が、ゴルフ・旅行・カラオケ各会からありました。引き続き事務局から会計報告等があり、その後、5月のゲスト藤木幸夫藤木企業会長(写真⑤)に

特別放談「横浜みなとよもやま話」をして頂きました。

最後に月の歌「背くらべ」を斉唱し、青木副会長の、元気になる挨拶で閉会となりました。

なお、新体制の確認など、6月総会に向けた5月理事会を弁慶で開催し、その後懇親会を行いました。

奇しくも藤木氏⑤と大類氏④松田会員⑥は同窓生だった



<理事会報告>

☆2月理事会(2月15日、16名)

- (協議事項)
- ・3月8日例会、会員放談加藤豊氏「人生を楽しむ」
- ・全日本PC協、第2回関東中央地区交流会2/206名参加
- ・県PC連絡協議会第7回親睦交流会5/17、横須賀の参加について
- ・5月例会「特別放談」藤木幸夫藤木企業会長～横浜みなとよもやま話について
- ・その他；6月総会に向けABCグループメンバー確認

☆3月理事会(3月15日、15名)

- (協議事項)
- ・横浜訓盲院たんぼ賛助会へ法人として一口1万円の参加
- ・4月移動例会について
- ・東京多摩PCとの親睦交流会は、

25年度に引き継ぐ。
・次期理事候補；Cグループ選出副会長は中村實氏を推薦

☆4月理事会(4月19日、12名)

- (報告事項)
- ・4月移動例会反省；21名参加各委員会報告
- ・旅行同好会；秋予定 ゴルフ同好会；5/27千葉で
- (協議事項)
- ・5月例会次第について
- ・神奈川PC連絡協議会第7回親睦交流会；5/17横須賀10名程度参加見込み
- ・次期理事候補会長；青木、副会長；中村實幹事；関口

☆5月理事会(5月10日、17名)

- (協議事項)
- ・6月例会・総会、懇親会について
- ・青木次期会長からキャッチフレーズ「楽しくなければプロバズでない」との提案があった。

2年間、お疲れ様でした

松下 尚雄様



当倶楽部創立10周年直後という一番難しい時期を2期にわたり当倶楽部のかじ取りをして今日の発展の基盤を作って頂きました。

特に同好会ではゴルフ、カラオケ等々全てに関わって軌道に乗せ、中でも旅行同好会では「上海の旅」を企画。記憶に残る思いで多い旅となりました。

また例会、移動例会等工夫が凝らされ1つのモデルができ、このことは関口幹事に引き継がれ更に充実した運営がなされるものと楽しみにしております。(常任理事・森山功)

● 「カラオケ同好会」

世話人：富永和男、加藤道子、本橋ふみ子
場所：パブ・パラダイスPM7時30分まで貸切。第16須賀ビル8F(住所中区相生町2-29 ☎045-212-5219)
会費：3000円(飲み物、つまみつき)
開催：例会後、その他随時開催

☆コミュニケーションの場としてカラオケを通じて相互の親睦を更に深める。飲んで歌って踊って楽しいカラオケ同好会にしていきたいと思っています。

☆3月「カラオケ同好会」には10名が参加しました。

● 2月「にこにこサロン」開催

2月例会開催後、関内弁慶にて「にこにこサロン」が開催されました(14名参加)。当日は、多摩プロバスケットの滝川益男氏中国南京から帰国中の鈴木征四郎氏にも参加していただき、クラブ間の交流推進や、日中交流、最近の日中若者事情など幅広い話題で大変盛り上がりしました。

●○ 囲碁サロン
出題 千喜良 忠

13 14 15 16 17 18 19

黒番です。隅の白はどうなるでしょうか。
(5分で2段解答は4面)
ヒント)初手で急所を衝いて、コウにします。

「当世マンション事情」 岡部 正久

衣食住は生活の基本ですが、日本では今や住宅が余る時代となりました。一方、一軒平均37年で更新され各世代がローンを負担することになっています。



英国では141年、米国103年、独86年、仏79年で、世代を超えて住宅を受け継いでいます。

国の住宅政策の影響もあると思われますが、もっと長く住み続ければ豊かな余裕ある生活ができるのではないのでしょうか。

さて、最近では（長期間居住可能な）マンションも増え、全国では住宅の11%、大都市は更に多く、横浜市で40%（持家中）になりました。

マンションの課題は、①ペット②騒音③駐車場でしたが、それぞれ解決され（駐車場は余っている）、最近では、高齢化、老朽化、家賃滞納、耐震が課題となり、建替え（4分の3の賛同必要）や大規模補修が大きな問題となっています。（会員放談から）

岡部正久氏略歴：横浜市中区長、横浜市大事務局長、(社)神奈川県建築士会事務局長、NPO横浜マンション管理組合監事

東京・多摩PCメンバーが会の歌を披露



交流 関東ブロックでは2月20日（水）第2回関東中央地区交流会（写真⑥6名参加）と神奈川県プロバスクラブ連絡協議会第7回親睦交流会が5月17日（金）に開催された（写真⑩14名参加）

昨年全日本プロバス協議会の中心が関東に移って早や6か月余が経過、この間、関東には「全日本」という意識が薄かったように痛感いたしました。また各クラブとの交流は自クラブの発展に大いに貢献することを再認識した期間でもありました。



女性会員で大合唱

＜編集後記＞ ▼皆様のご協力により、早くも「よこはまプロバス通信」第10号を発行することが出来ました。▼「私の横浜物語②」は紙面の都合により休載いたします。▼今期総会で須藤新情報委員長に引き継ぎますが、楽しい紙面が期待されます。▼改めて会員の皆様のご支援に感謝申し上げます。当会並びにこの通信の一層の発展を祈念いたします。（情報委員長・萩原信吾）



（情報委員長・萩原信吾）

趣味・遊び ラ・ベルフルールかんそう花

師範 東野 操



作品発表会での展示作品（本年3月そごう横浜店で）

ラ・ベルフルールかんそう花との出会いは、30年にもなるのでしょうか。主人がお祝いにいただいた花を記念に残す事ができたらとの思いで始めました。色々の種類の生花を乾燥させアレンジ。ガラスの容器に入れ作品にします。今一番きれいに咲いている花々を切って乾燥させますので、鉢を入れる時には「ごめんなさい」といいながら、花たちに感謝。美しい作品になるように心がけて作っています。



＜問題は3面にあります＞